

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2002-215195 (P2002-215195A)  
 【公開日】平成 14 年 7 月 31 日 (2002.7.31)  
 【出願番号】特願 2001-336685 (P2001-336685)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 0 L 19/00

G 1 0 K 15/04

H 0 4 R 3/04

【F I】

G 1 0 L 9/18 M

G 1 0 K 15/04 3 0 4 A

H 0 4 R 3/04

【手続補正書】  
 【提出日】平成 16 年 8 月 24 日 (2004.8.24)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 3 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0 0 3 7】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明の第 1 の実施形態に係る音楽信号処理装置の構成を示すブロック図である。図 1 において、音楽信号処理装置は、音楽データ入力部 1 と、ユーザ入力部 2 と、演算部 3 と、音声出力部 4 と、表示部 5 とを備えている。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 8 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 8 8】

ステップ S 2 4 において、上記の差分が所定レベル以上となる周波数帯域が検出されない場合、比較部 3 5 6 は、処理を終了する。一方、上記の差分が所定レベル以上となる周波数帯域が検出された場合、比較部 3 5 6 は、検出された周波数帯域をパラメータ決定部 3 5 2 に出力する (ステップ S 2 5)。ステップ S 2 5 の後、比較部 3 5 6 は、ステップ S 2 2 の処理に戻り、出力音響特性検出部 3 5 5 からの入力を待つ。比較部 3 5 6 は、ステップ S 2 4 において上記の差分が所定レベル以上となる周波数帯域が検出されなくなるまで、ステップ S 2 2 ~ ステップ S 2 5 の処理を繰り返す。以上により、比較部 3 5 6 により検出された周波数帯域は、パラメータ決定部 3 5 2 に出力される。